



絵本のまち板橋

講演会シリーズ

世界の書棚から

第3回 読むアート—ポルトガルの絵本

2022年5月13日（金）18:00～19:30

講師：木下眞穂氏（ポルトガル大使館文化部）

聞き手・司会：高木佳子（板橋区立美術館学芸員）

会場：板橋区立中央図書館 1階図書館ホール（板橋区常盤台 4-3-1）

定員：30名（事前申込・先着順）

1930年代から74年まで長らく独裁政権下にあったポルトガルでは、表現の自由が制限されていたため児童文学の発達は遅れていました。

しかし2000年代に独立系出版社の創設が相次ぎ、独創的な絵本の出版が急速に増え、ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェアなど国際的な舞台でも注目されています。ポルトガルの絵本を取り巻く状況や、「読むアート」とも呼べるようなポルトガルの絵本を紹介します。



（書影左から）

マルチンス文、カルヴァーリョ絵、宇野和美訳

「すきすきパパ」光村教育図書

マルチンス文、マトーソ絵、本田亮訳

「ぼくは生まれたとき」ニジノ絵本屋

■参加申込方法

4月25日（月）9時より以下のサイトより申込受付開始します（先着順）。

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/library/oshirase/2000629.html>

■問い合わせ

板橋区立中央図書館 電話 03-6281-0291

来館時はマスクの着用をお願いします。新型コロナウイルス感染拡大状況により中止となる場合があります。



主催 板橋区立美術館・板橋区立中央図書館・ポルトガル大使館

